

教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和元年11月20日(水) 午後2時30分～午後4時20分
- 2 場 所 伊東市役所高層棟4階中会議室
- 3 出席者 1番 高橋 雄幸君 2番 井上 靖史君
 3番 山本 香織君 4番 沼田 芳美君
 5番 村上 恵宏君
- 4 参 与 教育部長 富士 一成 次長兼教育総務課長 岸 弘美
 教育指導課長 操上 俊樹 幼児教育課長 稲葉 祐人
 生涯学習課長 杉山 宏生
- 5 事務局 教育総務課課長補佐 太田 靖久 主事 杉山 詩乃
- 6 会議の経過

教育長：ただ今から伊東市教育委員会11月定例会を開会する。議事に先立ち事務局から報告を行う。

(事務局から出欠報告及び資料確認)

教育長：それでは議事に入る。始めに9月定例会会議録の確認を行う。修正点等はあるか。

(意見なし)

教育長：9月定例会会議録を原案どおり承認してよろしいか。

(委員全員から賛成の声)

教育長：承認が得られたので、9月定例会会議録は原案どおり決定する。会議録の署名は井上委員にお願いする。

教育長：続いて、教育長報告を行う。11月定例会教育長報告事項について、主な内容のみ説明を行う。

10月18日 文化財保護審議会

- 1 9 日 中央区立宇佐美学園運動会
- 2 1 日 熱海市教育長来庁
- 2 4 日 保育園 5 歳児交流会、タウンミーティング（松原）、
市教育委員会指定研究発表会（八幡野幼稚園）
- 2 5 日 政策会議、地域行政協力委員長との情報交換会
- 2 6 日 伊豆高原コーラス定期演奏会
- 2 7 日 伊東市陸上カーニバル
- 2 8 日 分譲地自治会役員との懇談会、定例記者会見、
伊東商業高等学校からの寄附金受領式
- 2 9 日 青少年問題協議会幹事会及び補導センター運営協議会
- 3 1 日 市学童保育連絡協議会要望、
御即位祝う国民祭典参加団体大田楽代表来庁、
タウンミーティング（池）
- 1 1 月 1 日 市内一斉あいさつ運動、県教職員組合東豆支部長来庁
- 2 日 全国中学生都道府県対抗野球大会開会式、ANJIN サミット
- 3 日 全国中学生都道府県対抗野球大会表彰式、
ごみフェスティバル in 伊東 式典
- 4 日 市芸術祭（邦舞）
- 5 日 子ども読書活動推進計画策定委員会、
少年少女合唱団理事来庁
- 6 日 伊東高等学校訪問、未来ビジョン会議
- 8 日 市校長会
- 9 日 税に関する作品表彰式、タウンミーティング（赤沢）、
伊東清掃に学ぶ会講演会及びレセプション

- 10日 わたしの主張発表会
- 12日 静東教育事務所長来庁
- 13日 市教育委員会指定研究発表会（池小学校）、
新日本婦人の会要望
- 14日 タウンミーティング（吉田）、市職員組合団体交渉
- 15日 適応指導教室なぎさ訪問、県立田方農業高校副校長来庁
- 16日 ワイズ杯ドッジボール大会、MOA伊東市児童作品展
- 18日 未来ビジョン会議、小田原城天守閣の展示物等文化財視察
- 19日 芸術祭表彰式、姉妹都市交換文芸表彰式、東社振講演会
- 20日 教育委員会定例会、宇佐美江戸城石丁場遺跡保存会要望

以上で報告を終わるが、何か意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

教育長：それでは、各委員からの報告をお願いします。

委員：11月10日開催のわたしの主張発表会に出席して感じたことを報告する。子どもたちが真剣に課題に向かって自分の意見を主張できていたと思った。高齢者の交通事故や家族のこと地域のこと等、テーマが身近なことが多く分かりやすかった。未来の伊東や伝統文化の継承の大切さも考えており、頼もしさを感じ、伊東の発展に繋がるのではないかと思った。少し似た内容もあったが、主張の中では微妙な違いが見られた。観客が少ないように感じたので、会場をひぐらし会館にした方が満員感が出て良いのではないか。最後に教育指導課長が行った指導・講評にとっても感動した。まず司会者を褒めていた。司会者は影の力であり、すごく緊張しながら行っていると思うので、とても良かったと思う。また、発表者一人一人に対しても的確な助言をされていたので、発表者も嬉しかったのではないか。

委員：同じく、わたしの主張発表会に出席した。身近なことを主張している生徒が多く、挨拶や高齢者の事故、伊東市の未来や自分の将来、家族団らんの大切さについて等の話があった。子どもたちの世界だけではなく、家族や周りのことも考えていることを感じたので安心した。

大田楽として11月9日に国民祭典に参加した。伊東市からは23名が参加し、うち9名が舞台上で踊った。何万人の前で踊ったので、とても貴重な経験ができて良かったのではないかな。

杉山生涯学習課長：テーマは身近なものが多く、少し似たテーマもあったが、素晴らしい発表で甲乙つけがたいと思った。観客が昨年より少なかったように感じたので残念に思う。以前はひぐらし会館を会場としていたが、観光会館に変更した。大きな舞台で発表する機会を大切にしたいので、集客できるよう努力したい。

委員：西ロータリークラブより公立幼稚園4園に図書のを寄贈を行った。次年度も計画なので、ぜひ検討いただきたい。

わたしの主張発表会について、所用にて出席できなかったのが残念に思う。翌日の新聞にオーディエンス賞が載っていたので、内容が気になった。発表内容が分かる資料をいただきたい。

委員：わたしの主張発表会について新聞に載っていたが、写真がオーディエンス賞の生徒のみだった。基本的に甲乙つけるものではないと思うので、司会者も含め、発表者全員の写真や名前を載せてもらえると良いのではないかな。

教育長：それでは、議題に入る。始めに議決事項、教議第16号「伊東市学校給食センターにおける学校給食費の管理に関する規則の一部を改正する規則について」を議題とする。

(岸次長兼教育総務課長から資料に沿って説明)

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：学校に行く楽しみとなる給食を提供してもらいたい。物価上昇もある中、給食費の値上げは仕方ないのではないか。県内では小山町が幼稚園と小中学校の給食費を今年度から完全無償化している。教育振興の名目で町に寄せられたふるさと納税の寄付を活用しているようだ。給食費を完全無償化することが良いことだとは思わないが、家庭の負担を増やさないために補助としてふるさと納税を活用することも良いのではないか。また、フードロスの観点で見ると伊東市はフードロスが少ない。必ずしも「食べろ」という教育ではなく、自分の食べられる量を知り、自分にとっての適量を食べるという教育も必要なのではないか。体格差もあるので、全員に均等に分けてしまい食べられない子が吐いてしまったという話を聞いたことがある。アメリカでは給食の持ち帰りを可能としている所もあるようだ。

教育長：ふるさと納税を活用することは今後考えていきたい。御前崎市も来年度より給食費の無償化を予定している。

岸次長兼教育総務課長：不登校の子がその日の給食のメニューを見て職員室まで来られたという話を聞いたことがある。給食にはそういった力もあると感じる。小山町はふるさと納税を活用し無償化しており、御前崎市は保育園・幼稚園の3歳児から中学校3年生までの給食費の無償化を公費で賄う予定のようだ。伊東市では、現在、地産地消事業により1千万円程度補助している状況である。フードロスはなるべく少なくなるように努力している。例えば、現在の給食費から栄養価を賄おうとすると、どうしても豆類が多くなってしまい、子どもは豆が嫌いな子もいるため、栄養士がメニュー等を工夫し食べやすいように考えている。

教育長：給食衛生基準に沿って給食運営をしており、給食の持ち帰りは食中毒

の危険性も考えられるので難しい。

操上教育指導課長：学校給食において公平・公正に指導ができるように、校長会や教頭会で指導していく。配分を間違えない限り多く余ることはないので、給食の配分の仕方も確認し給食指導を徹底していきたい。

委員：値上げは仕方ないと感じるので納得いく。昔に比べ、食べ方や残すことに関して優しいように感じる。

委員：給食費の値上げは仕方ない。一人一人から集金する給食費は食材だけに使っているということや、市費でどれくらい負担しているか等を知らない保護者も多い。理解してもらうためには、知ってもらうことも必要だと思う。また、給食の時間が短く、時間内に食べるのが難しいのではないかと感じる。食育や人間関係の面でも給食は大切な時間かと思うので、話をしながら楽しく食べる余裕のある時間を作ってもらいたい。

委員：冷凍食品を使わず全て手作りであることや地産地消を行っていることをPRすることで納得してもらえるのではないか。学校に行きたくなるようなメニューを作ってもらえたら良いと思う。

教育長：メニューは栄養士が作成している。良いメニューが作れるようにしていきたい。議決後保護者への周知を行っていくと思うが、スケジュールを確認したい。

岸次長兼教育総務課長：今後の進め方としては、小中学校の在校生に対し値上げ予定であることをお便りで周知を図り、新入学生には1月下旬から2月中旬までの新入学説明会で周知を図る。3月の新年度予算議案審議を経て、令和2年度4月より改定後の給食費で運営を開始する。

委員：市町によって給食費の差が大きい。どうしたら4,000円で賄えるのだろうか。

岸次長兼教育総務課長：大規模で給食を作っていると同じ栄養素でも単価は下がる。市町によっては、おかずが少なかったりデザートを出していなかったり、冷凍食品を使用していたりするようだ。

教育長：伊東市では、全て手作りで一汁三菜に加えデザートも出しており、質は高いと感じている。

委員：ご飯に牛乳は合わないと思う。必ずしも牛乳でなくても良いのではないか。中休みに牛乳を提供し、給食時はお茶でも良いのではないか。

教育長：牛乳を中休みに飲むようにしていた市町もあったが、様々な課題により廃止しているようだ。

委員：栄養を補うために牛乳が必要なのか。

教育長：カロリー計算もあり、適量にする必要がある。多すぎても良くない。

教育長：この件について確認する。教議第16号「伊東市学校給食センターにおける学校給食費の管理に関する規則の一部を改正する規則について」は、原案どおり承認してよろしいか。

（委員全員から賛成の声）

教育長：委員の皆様から承認が得られたので、教議第16号については、原案どおり決定した。

教育長：次に、報告事項に入る。教報第14号「令和元年度実施 伊東市教育機関職員採用試験の結果について」を議題とする。

（岸次長兼教育総務課長から資料に沿って説明）

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：まず、採用があって良かった。しかし、採用されても中途退職をしてしまう人が多い現状がある。ある幼稚園のPTA会長からは、幼稚園の様子をみるといつも忙しそうであり明るくないように感じるという意見をもらったこ

とがある。先生たちが一生懸命に仕事ができる環境づくりを務めてほしい。

稲葉幼児教育課長：一生懸命に頑張ってくれており、持ち帰り仕事もしているような状況である。幼児教育の楽しさを感じながら働いてもらえるよう努めていきたい。

教育長：以上で報告事項を終了する。

教育長：次に、その他「各課報告」を議題とする。

岸次長兼教育総務課長：教育総務課から学校統廃合の進捗状況について報告する。川奈小学校・南小学校・西小学校・東小学校・旭小学校の保護者へ学校を通じて進捗状況についてお便りを配布した。今後も進捗状況をお知らせしていきたいと思っている。

（**岸次長兼教育総務課長**から資料に沿って説明）

西小学校・東小学校・旭小学校の3校は、基本方針決定後の説明をまだしていない状況であるため、意見交換会を今年度中に開催、次年度明けに地域協議会を開催していきたいと考えている。

操上教育指導課長：教育指導課から生徒指導について報告する。問題行動について、小学校6年生男子及び1年生男女の報告がある。6年男子については、中学生になることを見据えて指導していくと共に、中学校との繋がりを大切に、情報交換をしていきたい。「毅然とした指導」と「その行動に至った背景への理解」の両方が必要である。なぜ問題行動を起こすのか、行動の裏側まで見て指導するよう指導している。生徒指導とは生徒理解である。「毅然とした」とはどういう指導なのか、また、毅然と出来ない教員もいるので、資質向上させる指導はしていきたい。いじめについては、複数から暴力を受け指導したにも関わらず、再び同じ相手から暴力を受けたという事案がある。これについては、一度報告があった案件は注意深く見てはいるが見落としがあったのだ

と思うので、学校の指導も反省しなくてはならない。また、いじめを報告したにも関わらず、その情報を担任だけに留め校内に情報共有されていなかったケースがある。担任の判断で軽く見てしまった結果、いじめが続いてしまっているため、先日の校長会でも事案に挙げきつく指導した。不登校については、小学校は昨年度より増加している。家庭環境が原因のことが多く、ケースによっては連絡も取れないため生存確認が必要な場合もある。難しいケースについては、ケース会議を開き、学校だけでなく色々な方々の専門的な知見を結集し関係各所が連携し子どもと向き合っている。

稲葉幼児教育課長：幼児教育課から3点報告を行う。1点目は、令和2年度幼稚園入園児見込数について報告する。

（**稲葉幼児教育課長**から資料に沿って説明）

2点目は、令和2年度保育園入園申込状況について報告する。

（**稲葉幼児教育課長**から資料に沿って説明）

3点目は、幼児教育・保育の無償化の状況について報告する。10月から開始し、現在のところトラブルも無く順調に対応できている。

また、大津市であった保育園の散歩中の事故を受けて、国から保育園の周りにキッズゾーンを作成するという通知が11月中旬に届いた。各園の状況を把握しながら必要に応じて対応を検討していきたいと思っている。

杉山生涯学習課長：生涯学習課から2点報告を行う。1点目は、事業等の進捗状況等について報告する。新図書館について、建設予定地をマンダリン跡地に決定したことを市長が10月28日の定例記者会見において正式発表した。市民運動場の人工芝生化事業について、令和2年度に実施する。工事期間は令和2年7月から令和3年3月までの予定であり、落成は令和3年4月に行う予定である。令和元年度第2回社会教育委員会について、成人式を議題に開催し、

成人年齢引き下げ後も現状のまま20歳で開催した方が良いという意見で一致した。第54回オレンジビーチマラソンの募集締切状況について、11月8日に締切り、参加者は2,419人となった。前回と比較し参加者の傾向としては、10kmで148人増加し、特に一般男子が65人増加した。一方で、中学生女子の参加が20人となり、小学生2kmの部も46人減少してしまったので、若年層の減少が今後の課題である。第11回拓本コンクール審査について、11月12日に実施した。2か年にまたぐ事業であるが、今回で事業を最終する。申込者は29人、出品者は15人であった。表彰を令和2年3月1日に実施する。

2点目は、今後の事業について報告する。第20回市町対抗駅伝について、11月30日に開催し、10時にスタートする。ぜひ応援していただきたい。

教育長：ただいまの報告について、意見・質問はあるか。

委員：学校統廃合について、地域説明会等において出た意見や質問にはその場で回答しているのか。

岸次長兼教育総務課長：その場で答えられる部分は答えている。今後決めていく部分の意見や質問については、今後の地域協議会にて解決していくと回答した。

教育長：地域協議会に参加したが、様々な意見があった。基本方針は決定したが、今後の課題は多いので丁寧に対応していく必要がある。

委員：いじめについて、再び同じ相手からいじめを受けたとのことで、情報共有が不足していたとのことだが、教員が多忙な中、しっかりと目を向けるゆとりはあるのか。大丈夫か心配である。

操上教育指導課長：余裕があるのかと言われるとなかなか無いと思う。働き方改革と言われるように、教員は多忙である。しかし、忙しいからといって見逃

してはいけない部分である。1人の目ではなく、多くの目で見守る必要がある。

教育長：全体的には落ち着いている。個々には色々な問題があり、丁寧に対応していかなければならない。いじめは見えない部分もあるので、1人の目ではなく組織的に見ていく必要がある。学校によってはとても上手く一元化されているところもあるので、参考としてもらいたい。

委員：幼稚園入園児見込数や保育園入園申込状況を見ると、全体的に子どもの人数が減っていることが良く分かる。

教育長：待機児童は解消される予定なのか。

稲葉幼児教育課長：待機児童はできるだけ早く解消していきたいが、どうしても希望する園が偏ってしまう。入所調整をして待機児童解消を目指していきたい。

委員：申込みが多い園は、人気の理由があるのか。

稲葉幼児教育課長：家から近いことが一番の希望理由かと思う。その他として、環境や園の方針、交通の便、保育時間等も理由としてある。園によってのサービスの差が出ないように取組みをしていきたい。

教育長：施設のきれいさ等の環境は、民間と公立で大きな差があると感じる。公立の衛生環境も予算をかけて改修できれば良いと思う。

委員：新図書館の場所については、教育施設から近くなく残念に思う。また、成人式を18歳で行うことは、受験が控えている子がいるため絶対にやめてもらいたい。

富士教育部長：新図書館の場所については、現商業高校及び現東小学校から離れてしまうという意見もあった。しかし、基本的に高校生は土日に利用しており、小学生は移動図書館を利用できることから、交通手段も含め市街地の方が良いとなった。開館時間の延長等も考えていきたい。

杉山生涯学習課長：学習机を使って勉強できる環境以外にも図書館本来の部分を充実させたいと思っている。また、成人年齢引き下げに伴い、高校現場では消費者教育を行っていく必要があると考えているとのことである。

教育長：教育委員会としても、成人式は20歳が望ましいということで意見統一したい。

教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

教育長：今後の日程について確認する。

12月の定例会については、12月18日（水）午後2時30分から

1月の定例会については、1月22日（水）午後2時30分からを予定している。

教育長：以上で伊東市教育委員会11月定例会を終了する。

以上のおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長 高橋 雄幸

委員 井上 靖史

書記 杉山 詩乃